

いいまちづくり観音寺輝き隊通信

令和五年 七月一日 発行

文責：大西
編集：白川

【琴弾公園ヒストリー ③⑧】

《奥村土牛》その1

琴弾公園の入り口にある琴弾八幡宮境内の小高い場所に「琴弾女神の像」が建っています。「琴弾女神の像」は京都の彫刻家 谷口淳一 によるものです。

台座には『琴』という文字が掘られています。が、この文字を書いた人物こそが日本画の大家とされる奥村土牛（おくむらとぎゅう）です。土牛は一八八九年（明治22年）に東京で生まれました。子どもの頃から



像之神女弾琴

病弱で、医者から十五歳が寿命と宣告された程で、高等小学校をも途中で退学しました。そんな彼が唯一全てを忘れる程打ち込める楽しみを「絵を描くこと」に見い出します。十六歳の時に梶田半古（かじたはんこ）の画塾に入り実技指導を小林古径（こばやしこけい）に受けました。日本画を始めてからも

しばしば静養の忍耐を強いられましたが、体調の良いときには早朝から日没まで制作と勉強に励み、制作に対する真剣さや苦心惨憺たる努力はまるで修行僧のようでした。（つづく）

◆公園清掃日について◆

今月の清掃日は **7月3日** です。
午前八時～九時（雨天・7月10日）

琴弾公園の池付近に集合
みんなでいい汗を流しましょう。
※問い合わせ080-3211-1962

【琴弾公園クイズ51】

琴弾公園にある山口の井戸は弘法大師空海が作ったとされていますが、今年は空海の生誕何年に当たるでしょうか。

- ① 生誕1050年
- ② 生誕1150年
- ③ 生誕1250年

『輝き隊通信バックナンバー』と検索
または下のQRコードからこの通信のバックナンバーを見ることが出来ます。また観音寺市のホームページからも輝き隊通信は閲覧できます。



高灯籠の今後の課題（K・M）

私達「いいまちづくり観音寺輝き隊」は琴弾公園の魅力を高める事が市の観光・賑わいに寄与するものと考え、月1回の問答石周辺の草刈り、清掃を実施しています。また、それと並行して市のランドマークである琴弾八幡宮山上にある高灯籠の前面の木の伐採を香川県に働きかけ昨年3月、歴史的景観の復元を前面に出し、文化庁の許可を受けて西側半分の木約30本の伐採が行なわれました。これによって山上から西半分の市街地の眺望が戻りました。次に明治34年の錦絵讃岐名所にある三架橋からも見えるように東半分の木伐採計画が進んでいるものと思っていました。が、予算取りもまだで前進してないことがわかり、とても残念な気持ちです。それでも決断してあきらめることなく交渉を続けようと思います。課題を乗り越えるため皆さんの応援をよろしく願います。



◆いいまちづくり観音寺輝き隊◆

私たちは「琴弾公園の魅力高めること」を主な目的にしている小さな団体です。歴史的名物を見直し郷土愛を高め、まちをもっと元気にしようと頑張っています。